脱炭素経営未来投資事業計画書

令和　年　月　日

　　　　　　　　　　　　　住所（所在地）：

　　　　　　　　　　　　　氏名（名　称）：

　　　　　　　　　　　　　代　　表　 者：

■　現状・課題及び脱炭素経営に係るねらい・取組の方向

|  |  |
| --- | --- |
| 区分 | 内容 |
| 現状・課題 | ＜どういった課題が生じているか＞ |
| ねらい・取組の方向 | ＜脱炭素経営に係るねらい・取組の方向＞ |

■　該当する脱炭素経営の取組（該当する番号の左側に〇を記入　※複数可）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区分 | | 項目 | 主な取組 |
|  | １ | エネルギー消費量の削減 | 高効率の照明・空調・熱源機器の導入等 |
|  | ２ | エネルギーの低炭素化 | 太陽光・風力等再エネ発電設備の導入、太陽熱温水器・バイオマスボイラーの導入等 |
|  | ３ | 利用エネルギーの転換 | 電気自動車の導入、暖房・給湯のヒートポンプの導入 |

■　導入設備等の内容

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| No | 設備の種類 | 設備（本体・付帯）、機器及び改修工事等の内容  ※設備の製品名、型番、数量及び設置時期など | 金額 |
| 設備 |  |  | 千円 |
|  |  | 千円 |
|  |  | 千円 |
| 計 |  | 千円 |
| 運転 |  |  | 千円 |

※　国や県の脱炭素経営の促進に資する補助金を活用する場合は、補助金申請に使用する

事業計画書の写しの添付に代えることができる。

作成任意

■　エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（※調査を実施済の場合のみ）

＜環境省HP＞「算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧」を参照

<https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/calc>

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 区分 | 設備の名称 | 台数  （A） | 消費エネルギー量/台  （B） | 使用日数  （C） | 使用時間/日  （D） |
| 現　行 |  |  |  | 日 | 時間 |
| 導入後 |  |  |  | 日 | 時間 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区分 | 年間エネルギー使用量  （A）×（B）×（C）×（D）=（E） | 排出係数  （F） | 二酸化炭素排出量  （E）×（F）（t-CO2） |
| 現　行 |  |  |  |
| 導入後 |  |  |  |